

18. クリニカルパス使用率【日数】

(解説) 主な診療に先立って計画が行われるため、患者さんは事前の説明が受けやすくなります。しかし、まれな疾患や病状などではあらかじめ計画を立てることが出来ないためパスを利用することは困難です。このような疾患を多く診療している医療機関は使用率が低くなる場合があります。また、重症患者さんが多い病院も病状が一定でないため使用率が低くなる場合があります。診療計画表にはパス以外にも抗がん剤治療計画などがありますが、今回の調査では含まれておりません。主な治療が済んだあとに退院準備に時間を要した場合などにはこの指標が低下することがあります。

より高い値を目指しています。

(分子) パス適用日数合計

(分母) 入院延べ日数

	当院	全国		
		施設数	中央値	平均値
2018年度	29.8%	(131)	20.9%	23.6%
2019年度	31.9%	(135)	21.5%	24.4%
2020年度	32.2%	(130)	21.1%	24.1%
4~6月	32.2%	(130)	21.1%	24.1%
7~9月				
10~12月				
1~3月				

